

## 2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 6 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	朱 珉
研究課題	中国の就労支援に対する政策評価				
研究キーワード	中国 就労支援 社会扶助 政策分析 政策評価	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	1. 貧困をなくそう	3. すべての人に健康と福祉を	8. 働きがいも経済成長も	10. 人や国の不平等をなくそう	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>中国では、国民生活を保障するための社会保障制度はすでに 2011 年に創設されているが、その内実からみると、先進国の福祉国家とはやはり保障水準が異なる。また、中国ではデジタル経済の進展により、プラットフォーム型就労といった新就労形態が現れ、従来の働き方に大きな変化をもたらした。</p> <p>2019 年度から同志社大学の埋橋先生のプロジェクトに参加し、政策評価に関する理論的文献を学習し、最終的には就労支援ではないが、中国の貧困政策（特に社会扶助）への演繹的アプローチによるセオリー評価を行い、文章化した。</p> <p>また、就労支援の研究の一環として、中国の労働政策の歴史をたどり、現在の就労形態変化に伴う社会保険制度の新たな動きに関する論文を発表した。そして、2021 年度から阿部先生（大分大学）の就労支援の国際比較プロジェクトに参加し、オンライン研究会を通して、理解を深めた。2022 年 5 月に開催される社会政策学会の分科会で発表する予定で、11 月には原稿提出という流れになっている。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】 なし</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>①朱 珉 単著 「中国の新しい生活保障のかたち：積極的就労と社会保障の再連携」『千葉商大論叢』第 56 巻第 2 号、2021 年 11 月、pp.1-15</p> <p>②朱 珉 単著 「『ポスト 2020』の中国の社会扶助」『週刊社会保障』第 76 巻第 3156 号、2022 年 2 月、pp.52-57</p> <p>③朱 珉 単著 「中国の貧困政策に対するセオリー評価—文献レビューにからみる政策の課題」埋橋孝文編著『福祉政策研究入門 政策評価と指標 第 2 巻—格差と不利／困難のなかの福祉政策』ミネルヴァ書房、2022 年 3 月、pp.138-154</p> <p>④朱 珉 単著 「中国の社会扶助—相対的貧困に向けて」『社会保障研究』第 6 巻第 4 号、2022 年 3 月、pp.404-420</p> <p>【学会発表等】</p> <p>朱 珉 単著 書評 史邁著『協働モデル—制度的支援の「狭間」を埋める新たな支援戦略』『Int'elcowk』2021 年 8 月号</p> <p>3. 主な経費 ほとんど文献購入に費やした。2 月に、京都出張を行った。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等） なし</p>					
(本文は 2 ページ以内にとめること)					